

## 第 1403 回第一例会

12 月 11 日(火)金沢ニューグランドホテルにて第一例会が開催されました。



内山会長の挨拶では、先週から冷え込んできていよいよ冬の到来とともに鍋の季節となりました。先日家族で和田さんのところに行きカニを食べました。皆さんもぜひ、秋月、割烹たけし、玉寿司、割烹わ田に足を運んでください、オープニングで和やかな雰囲気となりました。今日は私のなりわい(生業)についてお話しします。私は息子と二人で営んでおり小さな家内工業です。職業欄には「古美術商」などと書きますが世間的には「道具屋」とか「骨董屋」などといいあまりいいイメージがない。日本には 5 大市場(東京・大阪・名古屋・京都・金沢)があり、それぞれに美術倶楽部と美術商協同組合があります。金沢美術倶楽部は大正 7 年(1918 年)に株式会社として設立され、会館の運営や場所を提供し業界の発展と美術文化の啓蒙などを行っています。本年 100 周年を迎え「感謝」をテーマに記念事業なども行うことができました。古美術と新美術の分岐点は明治であり、古美術には歴史的評価にて再販制が確立されているものをいいます。大切なのは「目利き」で 5 つの条件が揃っていないといけません。①学習→私の場合は 5 年間丁稚奉公で修行しました。②経験→より多くのもを手にとって見たり触れたりする。国宝級のものや重要文化財なども手に取る機会があります。③感性④聞く耳と尋ねる勇氣→ライバルである同業者に素直に聞くことができるか。⑤失敗と成功→欲張ると失敗することが多く身銭を切って失敗を経験することも大切。素人の目利きはいい加減なので専門の分野の業者に見てもらうのが良い。この業界は普段の生活に必要なものではない世界ですが、先人たちは美術品をレガシーとして守ってきた。私は誇りを持って次世代に受け継いでいきたいと考えています。と話されました。ゲストスピーチでは石川県石川中央保健福祉センター福祉相談部長の福村一(はじめ)さまより講話があり、私は能登の出身で父親は商売をしていました。私は後を継がずに金沢に来ました。一番下の息子が少年野球をやっております。先日金沢東ライオンズクラブ杯に出場しました。ゆかりのあるクラブでお話できることを

嬉しく思います。児童福祉法は当初戦災孤児への対応が主でしたが、非行相談が増え高度成長時代には障害児相談へと移り変わってきました。障害児施設の設置が進んだのもこの頃からです。このあと不登校児童の相談が増えましたが、現在は教育機関や NPO 法人がその役割を担っています。



近年は児童虐待が増えておりその内容は大きく 4 つに分けられます。①心身的虐待②ネグレクト→食事を与えない・重大な病気になっても病院に連れて行かない・登校禁止や自動車内に放置するなど③心理的虐待→言葉の暴力や配偶者に対する暴力など心理的外傷を与えるものを含む④性的虐待です。石川県内の虐待対応数は年々増加しており年齢も未就学児童の割合が増えている。H29 年は統計を取り始めた H2 年の 120 倍の相談件数(133,778 件)となっている。その原因は様々で親の要因・子供の要因・家族を取り巻く要因がある。虐待は子供にとって親との信頼関係や周囲の人に不信感を持った子供自身が自分を大切にできず非行などに巻き込まれやすくなります。児童虐待による死亡事件も多く年間で 52 人の子供が亡くなっている。児童虐待を見かけた場合は、通告する義務があります。次に DV について説明があり、平成 13 年に DV 法が制定されました。DV 様々な暴力によって行われている。DV とはごく一般的な家庭、特に地位や身分の高い人でもやっている。世間からはいろんな誤解がありなかなか他人に打ち明けられない。11 月が児童虐待防止推進月間でした。金沢駅にも垂れ幕を設置し多くの人に「189 番」の存在をアピールしました。オレンジリボンキャンペーンとパープルリボンキャンペーンをもっと多くの人に知ってもらえるよう、今後も活動していくことを話され締めくくりました。最後に浦田東一テールツイスターが登場し、岡田徹先生の詩「あなたの今日の仕事は、タッター人でよい。この店へ買いにきてヨカッタと満足してくださるお客さまをつくることです。あなたのお店があるおかげで一人のお客さまが人生は愉しいと知って下さることです。」を引用し、商品や品質はいつか追いつかれるが、人だけは追いつかれない。人の成長こそが唯一追いつかれることのないものです。と話され例会を締めくくりました。(記事 L.中村隆美)